

東日本大震災救援ニュース

No.75 2012年4月18日



にじのネットワーク
(尼崎医療生協グループ)
対策本部

被災住宅への炊きだし支援

～4.14 支援行動報告～

2012年度に入りました。被災地支援活動は引き続き地元団体との協同のもと、進められています。今回は4月14日に山元町沿岸部で炊き出し等の支援に入りました。この4月に組合員活動部に入職した藤原将平さんからのレポートです。

～炊き出しと仮設でふれあいサロン～

炊きだし（沿岸部被災住宅地域）

カレーライス、たこ焼き、デザートがメニューでした。

雨の中なんと約150人が炊き出しに参加し約200食炊き出しました。

中にはピラを見て楽しみで前日から場所を確認しに来る人や障害を持つ夫と久々に外出する機会ができたと喜ぶ人もいて家に引きこもりがちなのもこれから外に出るきっかけにもなったと思います。



炊き出しを家族に届けるために持ち帰る人もいれば炊き出しの場で久々に会う人達と嬉しそうに話している人もいました。近所に住んでいてもなかなか会う機会がないということで会話が弾んでいました。子どもたちもおいしいと笑顔で炊き出しを食べていました。健康チェックは

雨で中止になりましたが、フリーマーケットも盛況で部屋は人でいっぱい。物資が多く用意出来たので自分や家族のものをにぎやかに選んでいました。にぎやかな雰囲気を感じつつ、物資が減っていくにつれて、まだまだ支援の必要性も感じました。



ふれあいサロン（仮設住宅）

内手仮設住宅の集会所で健康体操、脳いきいき、お茶会をしました。参加人数は8人でしたがお茶会ではすぐ会話が弾み、お互いが作った人形や編み物を交換したりしてあっという間に仲良くなっていました。写真を送りあう

ために住所も交換していたのでこれからも交流が続くと思います。

その後、加納さん（ナニワ診療所鍼灸師）の健康体操では夫婦で参加されていた二人がお互いにマッサージしていたり、脳いきいきのゲームでは、村上さん（みやぎ県南医療生協理事）のピンポンパンゲームで皆さん大笑いしていました。皆さん終始笑顔で心身ともにリフレッシュしていました。



話の後は健康体操で体を動かしました。肩こりや腰の痛みが楽になったと1人で出来るマッサージを実践したいと評判でした。



おいしいコーヒーを飲みながら手芸の話で盛り上がっていました。

～毎月被災地で支援活動を展開しています！次回は5/12に～

ス金曜夜に空路で仙台入り、土曜の午前・午後支援活動、土曜夜には空路で帰阪（往復は飛行機利用）。当支援では、健康チェックや健康体操が中心で、看護師、介護士、理学療法士等の専門職の4名程度を継続して送ります。組合員でこれらの資格をお持ちの方も含めて募集します。お問い合わせは組合員活動部または生協事務局へ。